



上島町

議会だより

No. 20

2010年9月

編集 上島町議会広報編集委員会

発行 上島町議会

〒794-2592 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削210番地 TEL 0897-77-2500



(写真は7月28日(水) 於：松前総合文化センター)

主な内容

- 一般質問 2～6P
- 議員研修会報告 7P
- 議会の動き 7P
- 議会の傍聴 8P
- 議会の活動 8P

6月定例議会

一般質問

6月17日に開催された第2回定例会においては、5名の議員が一般質問を行いました。

質問内容と答弁の要旨は次のとおりです。

(掲載の順序は質問順で、記事の内容は基本的には質問議員が編集しています。)

濱田勝祐議員



旧生名村での県工事で奥里、前新開線の進捗状況は

Q 奥里、前新開線が凍結されている原因と

して、土地登記名の不明などが多数あるようですが、その後どのような状態か。

A (丸山産業建設部長)

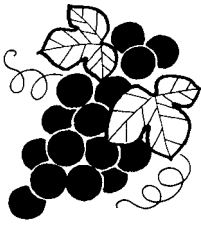
県に確認したところ、生名橋開通に合わせた供用の開始に向けて整備促進に努めました。が、県外在住者を含む約100名の相続による用地が存在し、手続きに時間を要しています。地元管理者には、提供の同意は得ていますが、地権者2名の6筆について相続手続きがなされていませんので、引き続き相続手続きを進めていき、生名港側及び頂上付近側の用地取得の完了しているところから、順次工事を進める事としてい

ます。

Q 奥里、前新開線は

上島架橋の道路として、岩城橋に向かって通行出来る道路で、当時住民の反対がありました。が、この道路が出来ないと郵便局、役場前の道路の拡幅は無理であると言われ、議会

で生名発展の為に思いつて議決した訳です。今後とも努力していただきたい。



原博彦議員



学校給食の地場産物の活用について

Q 県教育委員会が昨

年度実施した、県内学校給食の地場産物活用状況調査によると、総食材数に占める県内産の比率が上島町では37・1%で、県下20市町中11番目でありました。

町内の弓削、岩城地区の学校給食センター別に、町内産の農水産物の利用率と納品方法について伺います
納品されている農産物の生産管理についてはどの程度把握されて

いるのか、また、学校給食については安定供給並びに価格等の問題もあります。が、今後も安全安心で新鮮な地場産物の利用率をぜひ高めていただきたいと思います。

A (小澤教育長)

給食センターにおける町内農産物地元利用率は、岩城地区約40%、弓削地区で約12%です。

水産物は岩城地区約5%、弓削地区が約8%です。農産物の納品については、両地区とも農家グループが窓口で給食センターの注文により農家が直接納品しています。水産物は地元漁協や業者から仕入れています。
地元食材の利用は、地産地消はもとより生

産者の顔が見えること等により、子供達にふるさとの良さを伝える大切な教育の一環であると認識しています。

生産管理については、文部科学省の「学校給食衛生管理の基準」に基づいて行っており、生産者の方々にも安全性や新鮮さ規格等に心がけ、機会がある都度減農薬、品質等の管理をお願いしております。地産地消の仕組みづくりを行政と民間が協力して行う必要もあり、今後とも出来る限り地元産品の活用を図りたいと考えております。

Q 残留農薬のチェック等学校給食担当者は

どのような対応をしているのか、また納品されている農産物の品目

は何か、まだ対応できない生産者もいるのではないかと思われま

A (村上教育課長)

衛生管理、食品の選定、業者の選定等は検収簿により全てチェックしております。

納品農産物は、タマネギ、トマト、ジャガイモ、キュウリ等です。

宮脇 馨議員



集落支援員の導入について

Q 過疎高齢の限界集落では、地域力激減の主因として人的資源の圧倒的不足があり、生活の潤滑剤となる若役

が必要で、総務省の集落支援員制度を導入する計画はないか。

A (村上総務部長)

この6月補正予算において、高井神地区に配置予定で計上しており、地域の実情に詳しい人材の活用で生活支援を行います。そしてこれとは別に、特別交付税措置のある総務省の「地域おこし協力隊」制度で、都市部からの人材を受け入れ、どんな地域づくりができるか検討しております。できれば今年度中の委嘱を検討しています。

Q 県活性化事業の流れから出てきたかと思うが、地域コミュニティの再生支援として、前向きに取り組んで欲しい。集落支援には、いろんなやり方が

あるが、全国からの公募方式なども検討し、他島の集落でもどんな取り組みで欲しい。地域によつて、生活習慣や文化が違うので、こまめな配慮で活用して欲しい。

観光戦略について

Q 12月の生名橋開通

で、大きな変化が予想されるが、多くの可能性を秘めた瀬戸内海の観光では、千載一遇のチャンス、インフラ整備は勿論だが、ターゲットに照準を合わせた明確な観光戦略で、地域活性化につなげるべきではないか。

A (上村町長)

瀬戸内海は、ビジットジャパンの重点地域で、世界に注目され重

要な戦略を組んでいかなければならないと思っています。

上島町においても、

新年度課長会で生名橋関連での行事検討を申し合わせています。観光振興の一環として、潤いのある港空間創出や交流拠点施設の整備を進めており、海の駅クルージングの中心地として、係留施設を弓削、岩城港に整備しています。

Q 以前の元気アップ

計画で、ツーリズム戦略を早期に立案するとあるができていないのか。あるのなら景観計画、海の駅などいろいろリンクしてくるが、明確にすれば町民も理解しサポート体制もできる。海の駅のハード

A (島本産業振興課長)

整備は進んでいるが、利用者の意見はフィードバックされているのか。食料給水給油がセイルスポイントとなると思うが、広島県の瀬戸内海観光策とうまく連携し取り組んで欲しい。

四季の花を決める、イメージアップ戦略を行いたいと思っています。

石山を別子銅山関連

Q 昭和一桁世代

もあがるが、その前段階として受け入れる、人材の確保が必要かと思うがそれをどうするか。

Q 昭和一桁世代

など、ノウハウを持った

方がツーリズムに一番ふさわしいのではないか。海の駅の今後の整備方針は、どうなっているのか。戦略の明文化はどうか。

A (柏原副町長)

海の駅利用者のアンケート意見によって改善していきます。

子宮頸がんワクチン接種について

Q HPV (ヒト・パピローマ・ウイルス) による女性子宮頸がんは、10代前半のワクチン接種で、7割以上の予防効果が判明しております。先進自治体で公費助成を始めた。

短期的医療費抑制策から、予防医療による長期的な医療体制への転換、女性の健康増進による出産意欲の向上

での、少子化対策などの効果が期待でき、人口減少に悩む上島町はぜひ実施すべきではないか。

A (山下福祉部長)

10代のうちに接種すれば7割予防できるので速やかに対処致します。町長から指示も受けており、担当課で協議を進めています。

厚生労働省予防接種部会で、国の補助が検討されていますが、決定がいつになるかわからないので、今年度補正予算で中学生女子を対象に、全額町費で実施したいと考えています。

早期対応で上島町の若い女性が、誇れるよう取り組んで欲しい。 今後は、新中学1年生を対象に継続的に

やるのか、また、接種は地元医で対応可能と思うが、やり方はどうするのか。

A (山下福祉部長)

中学一年生から三年生に3回、来年以降は、中学一年生を対象に集団接種を考えています。

Q 集団接種と言う事だが、地域ごとの方が効率は良いのではないか。

A (山下福祉部長)

学校ごとの集団接種と言う意味です。



濱田高嘉議員



港湾及び漁港に整備されている「漁具保管修理工用地」の利用状況等について

Q 弓削太田地区及び日比地区の公有水面(海岸)を埋立て完成した、町有地に整備された漁業施設用地(太田地区約930平方メートル、日比地区約6174平方メートル)を、弓削漁業協同組合に「漁具保管修理工用地」として占有使用されているが、これまでにも「漁具保管修理工用地」に放置されている漁船、漁網

及び漁具資材等の整理整頓を要望して来ましたが、一向に改善処置が行われず、太田地区の漁具保管修理工用地には長年陸揚げされた漁船・漁具等が放置され、まるで産業廃棄物の集積場化していて、その実態は廃船・廃材としか判断できない漁船3隻、のり船6隻、空きドラム缶27個、トラック1台、コンテナ1個、漁網、ロープ類、錨等が放置され、また、広大な施設用地を有する浜都漁港にも同様に漁船・漁具等が放置され、特に船揚げ場には廃船同様の漁船5隻がスベリ部分と船台を占領していて、他の漁船・漁具の整備や修理等に利用出来ない状態にあります。

これら両地区にある「漁具保管修理工用地」の維持管理は、愛媛県港湾管理条例及び上島町漁港管理条例等で施設の使用規定が設けられ、一義的には施設を利用する、弓削漁業協同組合の責任と勘定で良好な港湾・漁港環境の維持に努力され、施設の整理整頓をされるべきと考えますが、今後上島町としてどのように指導・勧告等を行い、港湾及び漁港施設に放置された漁船・漁具及び廃材等の撤去に取組み解決していくお考えか、ご所見をお伺い致します。

A (丸山産業建設部長) 上島町としては、弓削漁協を通じて整理整頓と廃船やトラック、コンテナ等の撤去をお

願っております、漁協から放置者に対して指導を行っていますが、改善が見られない状況で施設の利用を著しく阻害していることでもあります。

り、除去命令の検討をしています。

今後漁協と利用者へ整理整頓を実施するよう指導していきたく考えています。

Q 太田地区の漁具保管修理施設用地に、放置されている漁具資材等の整理整頓は、生名橋開通（今年12月）までに、浜都漁港については、新ゆげロッジ完成（平成23年3月）までに完了するよう指導をお願いしたい。また、日比地区の施設用地以外の民有地に放置されている漁船・漁具資材等は景観阻害要因とな

っています、平成20年に施行された上島町景観条例や国の自然公園法（国立公園法）にも抵触するので撤去を求めます。

A（丸山産業建設部長）

10年前から放置されていることは認識しておりますが、町は放置されている個人には直接お話ししておりませんが、今後は直接話をし、文書で撤去命令といたしますか、催促も致したいと思えます。それから日比地区の個人の所有地に放置された漁船・漁具資材については基本的に土地所有者の個人がそれを処理するとか、必要な方法をとるべき事であり、直接行政が関与出来る部分ではないと思えます。

船揚げ場にある廃船等については弓削漁協とも協議をして、撤去するまでに一定の期間がかかりますが、その方向で協議して参ります。

A（上村町長）

町づくり懇談会等においても毎年この案件が出て対応すると答えておりますが、現実論として十分な対応が出来ておりません。これにつきましては、私に責任があるところでございますが、様々な要望等につきまして、その都度文書で各担当課に指示を出しており、今度部長制になりましたので、部長がしっかりと責任を持って最後まで見届ける対応をとりたいと思えます。

また、個人の土地に個人の財産を置いている場合はなかなか手が出せない場合もありますので、その点は、もう一度調査いたします。

檜垣一成議員



「光通信」によるその後のサービス等について

と聞いています。久司浦1組については、放送が聞き取りにくいという事で調べてみると、当該地区には、旧システムの時は当地区に向けてのスピーカーがありました。新しいシステム運用時に撤去され更新されていないと聞いております。

A（村上総務部長）

久司浦2組にある設備の音量を調整して対処しているようですが、まだ不十分だという事です。緊急事態に対処するためにも、早急に改善策を講じられるようにしていただきたいと思えます。なお、オペレーターによっても音量がまちまちに感じられるので、操作手順の統一を図ってほしい。また、CATVにつきましても、町内各地域においても、町内各地域において画像、音声の不鮮明の苦情を聞いております。この件についても再度、町内各地域の調査をして、改善をお願いします。

も、町内各地域においても、町内各地域において画像、音声の不鮮明の苦情を聞いております。この件についても再度、町内各地域の調査をして、改善をお願いします。

A（村上総務部長）

久司浦1組の旧スピーカーは撤去し、現在は1箇所4方向のスピーカーで対応しています。6月4日に1組方向のスピーカーの調整を行って、現在様子を見ております。また、今までは屋外、屋内放送を同時に行っていました。現在は屋内、屋外を別で放送していますので聞き取りにつきましても、以前より改善されています。また、オペレーターの放送におきましても、

は、職員による操作手順の統一を図っておりますが、再度職員への操作手順の統一を徹底いたします。

C A T Vにつきましては、隣接各県の電波が複雑に混信することや、島特有の海面の反射波により電波が乱れる、フェーディング現象等が苦情等の原因であると考えられております。これらに対処するため、久司山受信点の改修工事を6月補正予算において計上し、地上デジタル波の安定受信に対応します。

ご指摘のように、画像、音声の乱れが発生し、視聴者の皆様には大変ご迷惑をおかけしていましたが、四国総合通信局やデジタルサポーター協議会と協議を

して対策を進めており、現在は、順次調整をして以前よりは改善されております。

しかし、今回各地区の状況を確認いたしました。愛媛朝日テレビ、あいテレビ、NHK総合の愛媛3局が未だに画像、音声の乱れが発生しております。

今後も、国、県に対し支援要請も行いながら、地上デジタル波の安定受信を図ってまいります。

佐島港の埋立計画について

Q 平成20年12月議会で質問をした、佐島港の埋立計画のその後の状況について、どの様になっていくのかお伺いします。

当計画は、緊急ある

いは災害対応にとっても、重点事案だと考えております。

町としての対応を再度お伺いいたします。

A(丸山産業建設部長)

平成20年12月議会でお答えしたとおり、佐島漁港の埋立ては、地域住民の安全と生活環境の向上に必要な事業であります。

その後、佐島区長との協議も行いましたが、いまだに地域住民に十分な説明をすることには至っており、誠に申し訳なく思っております。

今後は、地区住民全体に説明する機会を設け、安全な交通の確保、緊急時の対応、災害対策、生活の利便性等埋立てすることの必要性を認識して頂いた上

で、地区の総意としてご了解を頂けるよう、事業実現に向けて努力してまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

Q 埋立計画について

ですが、あまり進展していないように思われます。埋立てが実施できれば、4組入口のポンプ小屋の撤去も可能になると思われま。そうすれば緊急車両等、救急車、消防自動車も楽に入りが出来、住民にとっても利便性が良くなると思われま。

また、集会所横から保育所下までの道路が非常に狭く、大型車両の通行も不便でこの点についても、埋立てによつて解消されるものと思われま。

是非、前向きに考えて欲しいと思いま。

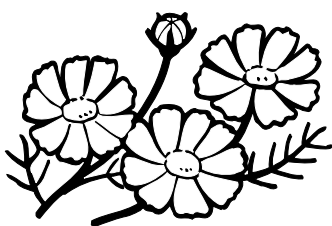
A(上村町長)

この案件につきましては、先程申し上げたようにその持場持場の担当課が機能していないのが現状でございます。本当に申し訳ないと思っております。担当職員の責任にしてはいけないんですが、現実にこれも町づくり懇談会とか様々な提案の中で、今後きちんと対応していきますと20年12月議会で、公の場で町長が申し上げている案件でございますから、具体的に仕事を進めていかねければならないのが担当課の仕事であると思っております。

これにつきまして、再度私の方が直接

指示し、佐島の住民の方々の意向を調査して、同意がいただけるのであれば対応していきたいと思いま。

これにつきましてただ1点、予算等の関係もございま。適切な予算も探したうえで、対応していきま。その様に思っております。



平成22年度 第1回町議会議員研修会

平成22年7月28日(水) 於：松前総合文化センター

愛媛県町議会議長会主催の議員研修会に参加したのでその内容についてレポートします。

主催者吉村会長と地元・白石松前町長の挨拶の後、「地域主権時代の自治体議会―その役割と改革」と題して中央大学法学部の磯崎初仁教授の講演が始まった。

混迷を極める国政を注視しつつ、自治体としてどんなポジションをとるかというとてもタイムリーな内容でした。

初めにこれまでの分権改革の流れをたどり、最新の地域主権戦略大綱に掲げられた方向性をとらえ地方自治体議会の可能性を探る展開となった。条例制定権の拡大や基礎自治体への権限委譲、一括交付金化などが段階的に進んでいくと予想されるため我々上島町議会に求められるスタンスも大きな自己変革が必要となってくるようだ。

多様な住民意思反映のためには討議デモクラシーが

求められ、これまでの行政監視機能の視点から、地域課題の解決を含めた政策形成機能の充実が求められることになりそうだ。また、

審議内容も質疑による追求型から討議による意思決定へとシフトしていくことになる。さらには全国の先進自治体で広がっている議会基本条例制定の意義も述べられ住民を巻き込んだ開かれた議会の在り方についていく方法として活用すべきではないかと述べられた。

上島町議会としても改革すべき課題は山積しており町民の負託に応えるべく精励しなければならぬと自戒しつつ次の2質問で答をいただいた。①法改正に伴う準則等による条例改正の審議が多過ぎる。(答…独自の吟味は必要で代案も可能である)②年4回の定例議会だけでは社会情勢変化や住民ニーズの多様化にリアルタイムで対応しきれないが解決策は。(答…地域の实情に合った住民意見の

反映方法や他自治体議会との他流試合・交流などを通じて見出すべきか、自治体学会への参加もお勧めか)

続いてテレビ等でお馴染みの時事通信社解説委員・田崎史郎先生による「政局展望」の講演があった。

菅内閣の寿命が来春3月の赤字国債発行特例法案(歳入の骨格)の成否で決まるといふ予想を元に様々な展開を示されたが、この国の将来がますます不安になるばかりであった。

なお、今回の上島町議会からの参加者は議員10名と事務局2名でした。

上島町議会議員 宮脇 馨



研修会において質問する宮脇議員

議会の動き

平素は上島町議会に対するご理解にお礼申し上げます。議会はこのところ、昨年の政権交代により、国から期限付きの特別交付金、補助金が創設され町理事者も、この機会を逃すまいとタイムリーに対応し、次々と計画を出してきました。

以前から計画していた海光園の建替えなども入れて、ゆげロジの建替え、快速船・小型フェリーの建造、町営バスの買い替え、生名町営住宅の建設、岩城の定住促進住宅施設の建設、立石港施設・弓削港務所の建替え等々審議検討して、議決をしてきました。現在、

来年3月末の完成に向けて、工事が進んでいます。年明けには、次々と皆様の前に姿を現してまいります。

議会内部の動きですが、この11月には申し合わせにより議長・副議長・監査委員・常任委員会の委員長が交代することになっています。少し先になります。

平成24年11月の町議選挙では、議員定数は4名減の14名になります。選挙区は島ごとの小選挙区で、魚島1・岩城4・生名3・弓削6と言うことに決まっています。

待望の生名橋が9月には仮結合し、1本になり12月には開通の運びとなる予定です。町議会といたしましても、この橋が上島町の一体化を推進し更なる発展につながりますよう知恵を出してまいります。町民の皆様のご意見もお聞かせ下さい。

先日、生名の方より「生名橋開通後の中学生の通学はどうなるのか」と言う質問がありました。教育課長の話では、引き続き船便通学にすると回答がありました。

上島町議会では、「マンガリンパイレーツの公式戦」・「日本・フランス交流美術展」の入場券を購入し地域行事に参加しています。

上島町議会議長

土居 計彦



離島体験滞在交流施設建設安全祈願祭
(弓削地区) 平成22年7月6日



特別養護老人ホーム海光園建設工事安全祈願祭
(生名地区) 平成22年7月6日

議会の傍聴について

9月17日(金)第5回全員協議会・9月27日(月)～28日(火)第3回上島町議会定例会が開催されます。

議会・全員協議会の傍聴はどなたでもできます。

定例議会は3月・6月・9月・12月に開催され、臨時議会は必要に応じて開催されます。

なお、定例会や臨時会の開会日は、決定次第上島町ホームページの議会情報コーナーにも掲載しています。

《上島町ホームページ <http://www.town.kamijima.ehime.jp>》

議会の活動 (前号掲載分以降)

月	日	活動内容	月	日	活動内容
5	17	町村議会議長・副議長研修会(東京)	7	6	特別養護老人ホーム海光園建設工事安全祈願祭 離島体験滞在交流施設建設工事安全祈願祭
6	6	花と音楽の会		26	26
	10	第3回全員協議会 協議内容: 6月定例議会提出予定議案協議			
	13	第19回関西岩城会総会(大阪・松浦総務委員長)			
	17	第2回上島町議会定例会	8	4	議員勉強会 協議内容: 過疎地域自立促進計画
	20	運動会(岩城)			
7	4	運動会(魚島)	10	10	生名地区恵生B団地建設工事安全祈願祭